

# 静岡市立西奈小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成29年5月30日(火)



5月30日(火)、静岡市立西奈小学校6年生の皆さんを対象に、「発掘調査について」の解説と「土器の分類」「石器(黒曜石)の試し切り」「火起こし」の古代の人々の生活の一部を体験する授業を行いました。特に本物に触れての体験には興味津々で、みんな目を輝かせて真剣に取り組んでいました。この学習を通して昔の人々の暮らしの一端に触れ、古代の人々の生活や歴史に興味関心をもち今後の学習に生かされることを期待しています。

◎石器(黒曜石)試し切り体験

◎発掘調査の解説



古代の人々の生活の様子を知る手がかりとなる石器や土器の発掘の様子、さらに、出土した土器や石器を元の形に接合していく作業やさまざまな機械や道具を使って行う修復保存など、センターの役割や仕事について話を聞きました。



黒曜石の石器を使って、紙や野菜を切る体験をしました。とても、よく切れたことに驚いていました。

また、昔の人々は鋭く尖る石(自然のガラス黒曜石)を探し、長野県や伊豆諸島まで出かけて行き手に入れたことを知って、さらに驚きました。

◎土器分類体験



縄文土器、弥生土器、須恵器(すえき)の3つの時代の実物の土器片を直接手にとって、みんなで分類しました。見た目や肌触りなどそれぞれの時代の土器の特徴や違いを見つけて分別する土器分類に挑戦しました。

◎火起こし体験



実際に挑戦してみると、火起こしは大変でした。最初は、なかなか火が付きませんでした。みんなで協力し、コツを覚えると、次々と火を起すことができました。煙が目にしみてつらかったけれど、昔の人々の工夫もいろいろと感ずることができました。